



眺 海



2020.5.11

# コロナで大変だけど...

5月に入り、だんだんと暖かくなってきました。  
みなさん、課題ははかどっているでしょうか？  
疲れたときには、読書でほっと一息ついてみませんか。



## 春のおすすめ本紹介！

何を読もうかな...

### 2020年本屋大賞受賞！



#### 『流浪の月』：凧良 ゆう（東京創元社）

あなたと共にいることを、世界中の誰もが反対し、批判するはずだ。わたしを心配するからこそ、誰もがわたしの話に耳を傾けないだろう。それでも文、わたしはあなたのそばにいたい――。

再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人間を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ傑作小説。

（「BOOK」データベースより）

### 第162回直木賞受賞！



#### 『熱源』：川越 宗一（文藝春秋）

故郷を奪われ、生き方を変えられた。それでもアイヌがアイヌとして生きていくうちに、やりとげなければならないことがある。北海道のさらに北に浮かぶ島、樺太(サハリン)。人を拒むような極寒の地で、時代に翻弄されながら、それでも生きていくための「熱」を追い求める人々がいた。

明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。見たことのない感情に心を揺り動かされる、圧巻の歴史小説。

（「BOOK」データベースより）

### 司書からのおすすめ



#### 『ぼくのおやつ』：ぼく（株式会社ワニブックス）

ほのぼのとしたタッチのイラストと、おいしそうなお菓子のレシピに癒やされます。料理本としてだけではなく、読み物としてもおすすめです。手軽に作れるものも多いので、休日などにトライしてみたいはいかがでしょうか？

図書室には物語だけでなく、料理、手芸、スポーツ、健康、イラストなどさまざまな本があります。なんとなく手に取ってみた本から、新しい発見をすることもできるかもしれません。ぜひお気に入りの一冊を見つけてみてくださいね！